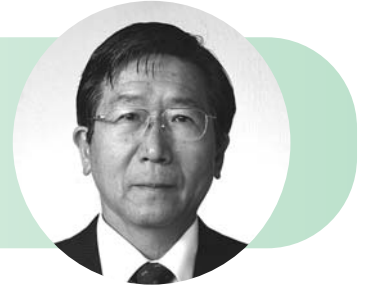


立松新治議員



この地域の隔離病棟の現状と感染症の予防対策は

問

この地域の隔離病棟の現状と、発生予測への対応は。

一部の感染症に海南病院が指定

答 健康推進課長

第1種感染症指定医療機関として、名古屋第二赤十字病院が指定されている。第2種はこの地域では、結核に対応するため一宮市の県立循環器呼吸器病センターが、結核以外は海南病院が指定されている。海南病院は21年5月、新型インフルエンザ発症時に使用、入院者が1人あった。発症予測は患者発生時に備え、隔離設備、連絡体制、医薬品充実などで対応することになっている。

消防車庫の計画的な建て替えを

問

各消防団の消防車格納庫の整備について聞く。
(1) だいぶ古くなっている格納庫もあると思う。今後、



3月に完成した第2分団格納庫

今後、順次建設を検討したい

答 防災安全課長

(1) 21年度、第2分団の消防車格納庫が白鳥コミュニティセンター駐車場に完成している。

現在、第4、第6分団の地元自治会から建設要請がある。災害拠点としての活用も含め、今後順次建設を検討していきたい。

(2) 現段階では要請のあった所をまず考えていく。

今後は、適切な位置に配置することも考えていかなければならないと思う。

問

市の施設等の熱中症対策はどうしているか。

答 社会教育課長

(1) 総合社会教育センター等のアリーナでは、扉や換気口を開けて風通しをよく

建築をどう進めていくのか。
(2) 順番に計画的な予算を組んでいくのか。

防災広場計画に市民運営施設を

問

南部地区の過疎対策と防災広場計画について、活気あふれる産業のまちの一翼となるよう、行政と市民が一体となって運営する施設計画を頼みたいがどうか
【関連記事11面】。

既存施設利用で整備したい

答 総務部長

市は過疎地域としては認識していない。
栄南学区は、現在用地交渉中の白鳥学区の完成後に、既存の施設利用を含めて計画するなど、地域に見合った整備をしていきたい。

する対策を講じている。
さらには大型の扇風機も現在導入しており、随時活用してもらっている。